

令和7年第4回小坂町議会（定例会）議事日程 第2号

令和7年6月19日（木） 午前10時開議

令和7年6月20日（金） 午前10時開議

◎ 一 般 質 問

- (1) 3番 菅原明雅君
- (2) 2番 工藤文明君
- (3) 7番 木村則彦君
- (4) 4番 鹿兒島 巖君
- (5) 5番 椿谷勇次君
- (6) 6番 本田佳子君
- (7) 8番 秋元英俊君

令和7年6月18日招集  
第4回小坂町議会（定例会）

---

---

# 発言通告書

---

---

発言順	議席番号	氏 名	発言の種別	出 席 要 求 者
1	3	菅原明雅	一般質問	町 長
<p>(発言の要旨)</p> <p>1. 選挙戦の公約実現の決意と覚悟について</p> <p>2. 「経常収支比率」について</p>		<p>(発言の内容)</p> <p>選挙戦において、現職町長の公約は重かったと思います。当選翌日の新聞にも「福祉施設の移転支援と高齢者住宅の建設は4年間で成し遂げる。町中心部の土地の再開発や脱炭素社会実現に向けた企業との連携は、計画を作りながら次の町長に引き継げるよう進めたい。」と公約実現の意欲が記載されました。</p> <p>改めて公約実現の決意と覚悟をお示し願いたい。</p> <p>「令和7年度予算(案)内示」の「町の財政状況」(令和7年1月8日、全員協議会資料)において、</p> <p>「令和5年度決算において経常収支比率が101.9%と県内ワーストとなっている。3ヵ年平均が95%を超えた場合は、総務省から事情聴取や予算執行状況の確認を求められるため、全庁一丸となり経常的経費の縮減に努める必要がある。」</p> <p>と示されました。そこで、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「経常収支比率」とは? ご説明願いたい。</li> <li>2. 「比率」とは、一般に全体を100%とした相対比(百分率)で、100%を超えることはないが、どのような理由で100%を超えているのか、簡潔にご説明願いたい。</li> <li>3. ①令和3年度決算・令和4年度決算・令和5年度決算の3ヵ年平均をお示し願いたい。 ②令和4年度決算・令和5年度決算・令和6年度決算の3ヵ年平均、令和5年度決算・令和6年度決算・令和7年度決算の3ヵ年平均が95%を超えることはないのか、見通しということになるのでしょうか、ご回答願えればお示し願いたい。</li> <li>4. 「全庁一丸となり経常的経費の縮減に努める必要がある。」とあるが、具体的な縮減策をお示し願いたい。</li> <li>5. 総仕上げとして、「健全な財政」を次の町長に引き継ぐこともこの4年間の仕事になるかと考えるが、その点についてのお考えを伺いたい。</li> </ol>		

発言順	議席番号	氏名	発言の種別	出席要求者
2	2	工藤文明	一般質問	町長・教育委員会の教育長
<p>(発言の要旨)</p> <p>1. 旧小坂高校跡地利用の現状について</p> <p>2. 小坂町の桜の美しさに関連して</p> <p>3. 令和7年度秋田県総合防災訓練について</p> <p>4. 災害情報の伝達手段について</p>		<p>(発言の内容)</p> <p>旧小坂高校の跡地を利用した再開発については、この度の細越町政5期目における公約や所信表明などに含まれておりませんでした。跡地利用の進捗状況と今後における利活用の計画について再度伺います。</p> <p>今年の町の桜の美しさは、近年で一番良かったという声を町民の方々から多数伺いました。</p> <p>中央公園や明治百年通り、陸上競技場、セパーム周辺の満開の桜は、散策しても車窓から眺めても見応えのあるものでした。</p> <p>町の桜に関連して、樹木管理と満開時のライトアップ、報道されたソメイヨシノの巨木のPRについて、それぞれの対応を伺います。</p> <p>令和7年8月31日(日)に小坂町と鹿角市において、秋田県総合防災訓練が開催される予定ですが、その訓練概要と町に関係した事前訓練の内容についてお知らせください。</p> <p>小坂町地域防災計画が令和7年3月(第13次)に更新されました。</p> <p>その中の資料編第2(13ページ)には、災害発生時の情報伝達手段として、サイレンと警鐘について信号内容が示されています。</p> <p>現在、町内で災害が発生した場合の情報伝達手段として、資料のとおりサイレン信号等が運用されているのかを伺います。</p>		

発言順	議席番号	氏名	発言の種別	出席要求者
3	7	木村則彦	一般質問	町長
<p>(発言の要旨)</p> <p>1. 町長が公約に掲げた高齢者福祉施設の移転支援について</p> <p>2. 若者世代の定住対策について</p> <p>3. ツキノワグマ被害対策について</p>		<p>(発言の内容)</p> <p>1. 町長は、選挙公約や当選後の報道機関からのインタビューに答える形で、野口地区にある高齢者福祉施設を町中心部に移転することについて支援したいと述べているが、この施策を進めることに至った経緯について伺いたい。</p> <p>2. また、この施策を進めていくにあたって、5月の人事異動で担当の職員を配置したようですが、担当課にはどのような指示をし、町としてどのような支援を考えているのか伺いたい。</p> <p>3. 民間が運営する福祉施設整備への支援のあり方について伺いたい。</p> <p>町長は町中心部の再開発を公約に掲げていますが、その中で若者の定住対策として、若者世代への宅地分譲を検討していく考えはないか伺いたい。</p> <p>1. ツキノワグマ被害対策について、今年度に町が実施する対策について伺いたい。</p> <p>2. 改正鳥獣保護法の改正より、今後市町村長の判断で市街地に出没したクマの駆除がハンターに委託して可能になることから、その体制や報酬面などについて検討しなければならないと思うが、今後の対策についての考えを伺いたい。</p>		

発言順	議席番号	氏名	発言の種別	出席要求者
4	4	鹿兒島 巖	一般質問	町長・教育委員会の教育長
<p>(発言の要旨)</p> <p>1. まちづくり政策に関わって</p> <p>2. カドミウム汚染米について</p>		<p>(発言の内容)</p> <p>1. 第6次町総合計画の後期基本計画の重点施策に関わって、小坂ふくし会が計画しているサンホーム大石平の移転整備への支援を打ち出している事について、まちづくりの視点から、質問と提案をしたい。</p> <p>(1) 小坂ふくし会の移転計画の概要等について把握していたら開示願いたい。</p> <p>(2) 少子高齢化に歯止めがかからないなかで、人口構成や人口密度、生活・居住環境がおおきく変わりつつあり、その状況を見据えたまちづくり（いわゆるコンパクトシティ）への取り組みが必要不可欠と考えており、この観点での施策の一環と捉えて提案したい。</p> <p>① 町中心部での整備計画をどう考えているか。特に高齢となっても町に住み続けられるためのまちづくり、住宅をはじめとした日常生活の利便性向上を目指したまちづくりが不可欠と考えるがどうか。</p> <p>② 周辺部のまちづくり計画をどう考えているか。周辺部居住者の中心部移転への支援策は必要と考えるがどうか。</p> <p>2. まちづくりに関わって、1の課題にも関連するが、町社会福祉協議会と小坂ふくし会の果たす役割がおおきく関わってくると考えるが、少子高齢化に歯止めが掛からない中で、特に高齢者にかかわる諸施策の中心を担う両者の役割と連携・分担等について町として総合的な見直しと協議が必要と考えるがどうか。</p> <p>3. 町の将来を担う子育てに必要な保育施設の状況に関わって、マリア園の状況をどう捉えているか、町にはなくてはならない施設として、抜本的な支援策が必要と考えるがどうか。</p> <p>先に報道された当町生産米のカドミウム汚染は公害として全国的に報道されるなど、衝撃を受けたところである。</p> <p>公害とは、経済合理性の追求を目的とした社会・経済活動によって、環境が破壊されることによって生ずる社会的災害でその定義は「環境の保全上の支障のうち、事業活動その他の人の活動に伴って生ずる相当範囲にわたる大気汚染、水質汚染、土壌の汚染、騒音、震動、地盤</p>		

発言順	議席番号	氏 名	発言の種別	出 席 要 求 者
4	4	鹿兒島 巖	一 般 質 問	町長・教育委員会の教育長
(発言の要旨)		<p data-bbox="603 398 794 434">(発言の内容)</p> <p data-bbox="603 443 1412 562">沈下及び悪臭によって、人の健康又は生活環境に係る被害が生ずること」とされており、カドミウム汚染は水質汚染、土壌汚染とすることである。</p> <p data-bbox="603 571 1230 607">(1) 汚染に至る経過について明示願いたい。</p> <p data-bbox="603 616 1412 824">(2) 公害に対する対策責任は第一に国が対応すべきであり、民間や個人に負わせるべきではないとして、例えば国は「環境基本法」を制定してきたが、今回の状況から、さらに国の取り組みの強化が第一に求められると考えられるがどうか。</p> <p data-bbox="603 833 1412 952">(3) 国・県での対策強化を求めるとともに、その間は、町で支える施策（水質管理の指導・水質検査などの管理費用助成など）を行うべきと考えるがどうか。</p>		

発言順	議席番号	氏名	発言の種別	出席要求者
5	5	椿谷勇次	一般質問	町長
<p>(発言の要旨)</p> <p>1. 地域DXの推進状況について</p> <p>2. 道の駅十和田湖の運営状況について</p> <p>3. 「サンホーム大石平」の移転に関する進捗状況と財源について</p> <p>4. 小坂町における生活の基本3要素「医・食・住」について</p>		<p>(発言の内容)</p> <p>2025年5月14日に秋田県がGoogle Workspaceを活用した行政事務の効率化・働き方改革を目的とする協定を締結した。小坂町における地域DXの取組状況及び進捗・検討状況はどのようなか。</p> <p>道の駅十和田湖の現在までの来客数および売上高の実績を、今年度予算との対比で報告いただきたい。</p> <p>1. 町長より「サンホーム大石平の移転を成し遂げたい」とする発言が選挙公約等であったが、現在の進捗状況はどうなっているか。</p> <p>2. 移転において、現行町財政から充当可能な財源はどの程度か。</p> <p>3. また、新たに起債を行う場合、現時点で推定される最大発行可能額はいくらか。</p> <p>小坂町において「医・食・住」の3要素を町単独で維持可能と考えているか。その評価を伺いたい。</p> <p>①「住居」において、町営住宅の供給状況は十分か。現状をどう認識しているか。</p> <p>(1) 現在、新規募集を行っていない町営住宅「あけぼの住宅」や、分譲区画が残っている「狐崎団地」等の宅地分譲地の取り扱いについての、今後の方針・展望を伺いたい。</p> <p>(2) 住宅問題を世帯構成別に細分化して分析した場合、特に高齢者単身世帯の住宅需要は高く、供給が不足していると考え。町営住宅募集の掲載状況を長期的に見ても即時に募集終了している状況がみられる。さらに「けやき住宅」については、3～5階は高齢者には利用が難しい。こうした現状に対して改善・対策の検討を行っているか。</p> <p>(3) 住宅問題に関するデータは長期的な視点で分析されているか。単年度的な対応に留まっていないか。</p> <p>②食に対して、こうした状況への現時点での町の具体的な対策について伺いたい。</p>		

発言順	議席番号	氏 名	発言の種別	出 席 要 求 者
5	5	椿 谷 勇 次	一 般 質 問	町 長
(発言の要旨)		(発言の内容) (1) 医療と住居は町政課題として取り上げられることが多いが、「食」については議論が不足している。近年、町内の飲食店の減少傾向がみられるが、スーパーや商店の状況をどのように捉えているか。		

発言順	議席番号	氏名	発言の種別	出席要求者
6	6	本田佳子	一般質問	町長・教育委員会の教育長
<p>(発言の要旨)</p> <p>1. 学校体育館への空調整備について</p> <p>2. 骨髄バンクの現状とドナー支援について</p>		<p>(発言の内容)</p> <p>1. 小坂小・中学校の体育館には、空調設備があるのか。また現状はどのようになっているか。</p> <p>2. 学校体育館の空調設備に関して、文部科学省で早期実施に向けた支援をしているが、町としてどのように考えているか。</p> <p>3. 近年災害や予測不能な事態が起こる可能性があり、町民の命を守るための備えは必要不可欠である。交付金の対象が避難所指定学校とされている公立小中学校、中等教育学校、特別支援学校の体育館と武道館が対象のようだが、小坂小・中学校も検討されてみてはどうか。</p> <p>1. 国内の骨髄の移植を必要としている患者さん1,869人に対して行われた移植は1,021人であり、約2人に1人しか移植を受けられていない状況だ。ドナーになるには骨髄を採取する検査やドナーの健康診断などする必要があり、採取にかかる期間をサポートする制度があるが、町で予算補助したことはあるか。</p> <p>2. 今後、町として支援する考えはあるか。</p>		

発言順	議席番号	氏名	発言の種別	出席要求者
7	8	秋元英俊	一般質問	町長・教育委員会の教育長 選挙管理委員会の委員長
<p>(発言の要旨)</p> <p>1. カドミウム基準値超過米について</p> <p>2. 小坂町の福祉の現状について</p>		<p>(発言の内容)</p> <p>令和7年4月4日、秋田県環境部生活衛生課及び農林水産部水田総合利用課から、小坂町の農業法人が生産した米から、食品衛生法で定める成分規格基準値を超えるカドミウムが検出され、自主回収を進めている。との報道がありました。</p> <p>その後、5月8日の全員協議会で、その米の流通について説明がありました。</p> <p>全員協議会での説明について、先に述べた秋田県の報道資料を説明した形でのみで、小坂町としての方向性が示されなかったと記憶しています。</p> <p>したがいまして、小坂町として、どのように考えているかを伺います。</p> <p>1. 小坂町として、カドミウム対策をどのように指導してきたのか。</p> <p>2. 自主販売を取っている生産者に対してカドミウム検査をし、出荷すべきであると思いますが、小坂町はどのように指導してゆくのか。</p> <p>1. 令和5年10月現在、秋田県における65歳以上の高齢者に占める要支援・要介護認定者の割合は20.2%となっています。要支援・要介護認定率は年齢が上がるにつれて上昇し、75歳から84歳では17.3%、85歳以上では59.0%となっています。</p> <p>今年度は、いわゆる団塊の世代の方々が75歳以上となるなどから、今後も要支援・要介護認定者が増加するものと推定される中、小坂町の福祉、いわゆる高齢者施設の入居状況やショートステイやデイサービスの現状はどのようなものかを伺います。</p> <p>(小坂住民からの意見として、従業者が少なくなっていることからの、高齢者サービスの低下などの指摘などがあり、小坂町として対策が必要と考えるが。)</p>		

発言順	議席番号	氏名	発言の種別	出席要求者
7	8	秋元英俊	一般質問	町長・教育委員会の教育長 選挙管理委員会の委員長
<p>(発言の要旨)</p> <p>3. 運動公園の整備について</p> <p>4. 移動投票車について</p>		<p>(発言の内容)</p> <p>1. 運動公園、野球場のスタンド正面入り口にある桜の木は、小坂鉦山のグラウンドを整備した時からの桜だと思われていますが、樹齢120年くらいと推定されており、幹回りが556cmあり、弘前公園の桜の537cmを上回っており、日本一の太さとされていることから、小坂町として、文化財登録や防護柵設置、「小坂100年桜」とかの名称を募集し命名、他の桜と共に保護・整備するべきと考えますが、町の考えを伺います。</p> <p>1. 昨年3月の町議会議員選挙や今年4月の町長選挙において、高齢者や移動手段が限られている方々から、巡回式移動期日前投票所を開設できないだろうかと多くの意見を伺いました。</p> <p>鹿角市や県内3自治体を実施していることから、小坂町でも実施できないかを伺います。</p>		